

フロンティア通信

第7号 平成24年12月20日(木)発行
京都府立久美浜高等学校

2学期が今日で終わり、今年1年も終わりに近づいています。この2学期は皆さんにとって実りの多い日々であったでしょうか。さて、2学期の最後に当たり、2学期にフロンティア事業で取り組んできたこと、冬休みの予定についてまとめました。

1 1年生マナト終了

1年生が基礎学力の向上のために取り組んできたマナトトレがひと通り終了し、確認テストを行いました。また、「おかわりプリント」に取り組み、個人の進み具合に応じ、弱点を補ったり、得意な部分をさらに伸ばしたりすることで、学力をアップさせました。

2 新聞への投稿

1学期に引き続き、新聞へ積極的に投稿し、2学期には新たに2名の投稿が新聞に掲載されました。

3 作文等の応募

国語表現の授業で俳句に取り組み、「俳句、短歌で人とのふれあいを」の取組に応募した生徒が優秀賞を受賞しました。

また、地歴公民科を中心とした取組で、「税に関する作文」へ応募し、『私と税金』と『たばこ税は無駄な税?』というタイトルで2名の生徒が「京都府租税教育推進協議会賞」等を受賞しました。

4 ボランティア活動の充実

9月16日(日)に行われた『歴史街道丹後100kmウルトラマラソン』に部活動部員を中心に69名の生徒がスタッフとして参加しました。

10月21日(日)に行われた『久美浜まるかじりまつり』で茶道部が呈茶を実施しました。お茶席の受付付近で、京都府南部豪雨水害の義援金を募ったところ、15,515円の義援金が集まり、責任を持って送金させていただきました。

11月3日(土)に久美浜町の福祉施設「かがやきの杜」で行われた『かがやきの杜ふれあいフェスタ』に吹奏楽部員と1Cの生徒が参加しました。

11月24日(土)に行われた『箱石植栽ボランティア』に本校から11人が参加し、砂丘保護のために植林を行いました。

また、冬休みには12月22日(土)に1Cの生徒8名が『久美浜町湊地区餅つき大会』に参加します。

5 生産科学系列学校見学及び企業見学ツアー

11月5日(月)に生産科学系列の生徒が、先進地視察として、農業単独校の京都府立農芸高等学校と、完全閉鎖型の人工光型植物工場野菜を栽培されている(株)スプレッド亀岡プラントを見学しました。見学ツアーを通じ、新たな刺激を受け、今後の高校生活をあらためて見つめ直す機会となりました。



ふれあいフェスタにて

6 キャリア教育講演(1年)

キャリアプロデュース研究所の岡本忠則氏を招き、1年生を対象に「仕事」の意味について、企業が求める人材について、現状をプラス方向に「ちょっと何かを変えてみる」ことの大切さについて話していただきました。

7 学習時間調査

2学期中間、期末考査前の1週間に学習時間調査をしました。期末時にはどのクラスも学習時間が大きく増え、多いクラスでは2学期中間から期末に向けて学習時間が倍近くに伸びました。また、1学期中間時に34人もいた『学習時間ゼロ』の生徒が10人まで減少しました。

8 冬休みの宿題の確認

各教科から出される冬休みの宿題の調査を行い、一覧にして学年の指導に役立てていきます。全員が冬休みの宿題を期日を守って提出できるようにしましょう。

9 教科書持ち帰り計画

終業式には教科書などのすべての私物を持ち帰り、家庭での学習に活用しましょう。また、3学期には忘れずに持ってくるように。

10 2年生学習合宿

12月25日(火)~27日(木)の日程で野田川ユースセンターにおいて2年生の進学希望者を対象に、2泊3日の学習合宿を行います。国・数・英の講義を受講し、模擬試験の過去問題に取り組み、『学習漬け』の生活を送る中で学習への意欲を高め、実力アップにつなげます。また、期間中には外部講師による学習に関する講義もあり、生徒たちが効果的に学習できる方法について学び、来年の受験へとつなげていきます。



昨年の様子

3学期にもレシテーション・グランプリ(英語暗唱大会)など、さまざまな取組を企画しています。平成24年度を締めくくる良い学期となるような活動をしていきましょう。



ウルトラマラソンボランティア



久美浜まるかじりまつりにて